ライブ毎刊びゃっきープレス

byacky press

2006
4 月 17 日号
ライブ当日発行

無料配布
↑あたりまえ

発　　行　(謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp
配　　布　びゃっきーご本人かライブハウスの人

RAMBLING Satellite
役にたたない偏重サイト
情報がグレードダウン!!
アクセス不要
http://www.satram.jp/
info@satram.jp

曲を作ってみよう

東京 MXTV「BREAK 音」収録ライブ―第２回―

初心者のためのびゃっきー簡単作曲講座

【びゃっきープロフィル】びゃっきー　19XX 年２月１日生まれ。東京都杉並区出身。2004 年、８月に弾き語りを開始する。2005 年、2006 年なお現役。ライブ回数はたぶん 30 回。賞罰経験なし。まぁパッとしないながらも無難に生きてきたのではないでしょうか。

「作曲ってどうやるの？」
そんな作曲をしたことのない人のためにびゃっきーがこの場を利用して、超初心者向け作曲講座を開講する。曲作りをしたことのない人はもちろん、既に何十曲も作ったことのある人にも新しい切り口となるような、そんな斬新な作曲法をご紹介する。さぁ、これでキミも今日から偉大な作曲家の仲間入りだ。

「曲を作るってどうやるんだろう」そんな疑問をもたれたことはないだろうか。以前筆者もそんなことを聞かれどう答えていいものやら困ったことがあった。シニカルヒステリーアワーのツネコちゃん的に言えば「そんなものパッと思いついてパッと作る」という感じなので、説明のしようがないのだが、それだとまるで「最初から才能のある人とない人」という風に聞こえてしまう。そうではなくて、別にそんなに難しいものではないのだ。今回は作曲のとっかかりとして、１つの切り口をご紹介する。そこから作曲の世界を少しずつ広げていくとよいのではないかと思う。

まずは音を鳴らしてみる

作曲の第一歩は音を鳴らしてみるということ。どんな曲を作りたいかなどということは後でいい。ぶっちゃけた話作った後で題名をつけたっていい。できた曲がなんとなく電車っぽいから「電車」そんな感じで一向に構わない。

とにかく具体的な音にした方がいいのでなんでもいいから楽器があった方が良い。そんないきなり楽器なんて弾けないよ、というあなた。心配はご無用。この講座ではそんなあなたのために、まずは一音で作曲を行ってみる。

ということで、まずは基本の「ド」を使った作曲を行おう。楽器にはいくつか「ド」の音があるが、どれでも構わない。どうせ一音しか使わないのだから。どれが「ド」の音かわからないという人は、楽器に解説書がついてくればそれを見て、それでもわからない人やそもそもそんな解説書がないという人は、わかる人に聞いてしまうと良いだろう。

「ド」で作曲

では早速曲を作ってみよう。とはいえ一音しかないのだから、違いを出すとしたらリズムぐらいしかない。そこでややこしい話は抜きにして、短くしたい時は「ッ」を入れて、音を伸ばしたい時には「ー」を使うことにする。では適当にやってみる。

「ドドドドッドドドッドドドッドドドー」

はい、完成。タイトルは「大群」。どうだろう、作曲の簡単さがわかっていただけただろうか。

もう一音足してみる

一音だけだとさすがにつまらないという優秀なあなた。ではもう一音足してみよう。音は「シ」でいいだろうか。先ほどと同様にどれが「シ」の音なのかまずは見つけてもらう。いくつかあるかもしれないが、やはりどれでもいい。しかし「ド」の隣に「シ」の音が配置されている楽器が多いので隣の「シ」を使うのが楽なんじゃないかと思う。では早速曲作りを行ってみよう。

「ドドドドッドドドッドドドッドドドー
シッシッシッシッシッシッシッシッシッドドドドッドドドッドドドッドドドー」

はい、完成。タイトルは「犬の大群を追い払う人」。

どうだろうか。「シ」を一音追加しただけでずいぶん豊かになったと感じられた読者の方が多いのではないだろうか。事実タイトルの物語性も格段に増している。

今回のまとめ

このように作曲とはとても自由なものであり、誰にもその門戸が開かれているのだ。次回はいつになるかわからないが、もう少しだけ踏み込んだ作曲法をご紹介しようと思う。コードを使った作曲法やチャーチモードを利用した作曲法、音の解決法や拍子について、はたまた転調の方法など、紙面の許す限り詳細におい伝えしたいと思う。

（びゃっきー）

今号の変なモン

ＪＲ某駅下車、徒歩５分程度のところにある個人所有の駐車場。「きけん　ちうい」と書いてある。これを見て「注意しよう」という気には全くなれない。